

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本古典文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問題一は日本文学・日本文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは国語史的問題に関する理解と知識を質すと共に、文章読解能力及び文章表現能力も併せ見るものである。</p> <p>問題二は日本古典文学研究における最も根本的な作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力を見るために変体仮名の翻字も課す。</p> <p>問題三は日本古典文学研究に必要かつ重要な能力である漢文読解能力を問うものである。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 日本古典文化論 全4枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 4枚、解答用紙 3枚を配付する。
問題は三題あり、解答は問題一・二・三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。

問題一

次の文章は、小川和佑『桜の文学史』の一節である。これを読んで各自の観点から自由に批評せよ。

*問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究院教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 小川和佑著『文春新書363 桜の文学史』（朝文藝春秋、2004年2月、169頁～171頁）

2020年度（前期）

日本古典文化論

全4枚のうち2枚目

問題二

次の文章は曲亭馬琴『南総里見八犬伝』の一節である。鎌倉から落ちのびた里見義実・杉倉木曾介主従は、三浦半島から対岸の安房国へ渡る舟を求めつつ途中で姿を消した従者堀内蔵人貞行を待っている。貞行が逃げたのではないかという木曾介の疑いに、義実が答える場面から始まる。読んで設問に答えよ。

義実 荒尔とうち笑みて、「さな疑ひそ木曾介、老若若多かる中にて、彼と汝は人なみならぬ、志あればこそ、家尊大人択せ給ひて、吾儕に属させ給ふならずや。われも亦貞行が人となりはよく知りつ。難に隨て主を棄、逃かくるゝものにあらず。今曇時こゝにて候ん。月も出べき比なるに。」と物に障らぬ言の葉も、心の底もいと広き、海より出る十八日の、月おもしろき浦波や、金を集め玉を敷、龍宮城もかくやらんとて、主従額に手を翳し、思はずも木蔭をはなれて、波打際へ着給ふ。浩処に快船一艘、水崎のかたより漕出たり。

船の中より声たかく
イ契あれば卯の葉葺ける浜屋にも竜の宮嬢かよひてしかな
と、口実む一首の古歌を、水主は何とも聞しらすや、そがまうに漕着しかば、件の人は纜を、砂の中へ投かけて、その身も閃りと登り立を、と見れば堀内貞行なり。「こはくいかだ。」と「あなたの主従、緋問良に先に立て、旧の樹下に坐を占れば、貞行は松の下葉を、搔よせて小膝を着、一向に相模路へ入りしより、渡漕不便に候よしを、仄に聞て候へば、捷徑より先へ走て、是貞彼言なる浜屋にて、津を求めども船を出さず、ゆきくつて水崎に赴き、漁舟を借得たれども、餓させ給ふ事もやとて、飯を炊せ候程に、雷雨烈しくなりしかば、思はず彼処に日を消し、かくの如く遅参せり。はじめよりこれらのよしを、申上候はねば、いぶかしくおぼし召けん。」といふを義実聞あへず、「それはこそいはざる事か。われはきらなり木曾介も、こゝらに船のありなしは、一切思ひかけざりき。もし蔵人なかりせば、今宵いかでか安房へわたさん、寢にこよなき才覚なれ。」と只管嘆賞し給へば(以下略)

- 問一 本文中のくすし字の箇所を振り仮名も含めて翻字せよ。
- 問二 イの歌が踏まえる先行作品中のエピソードを作品の題も挙げて簡潔に説明し、歌を現代語訳せよ。
- 問三 義実主従が傍線部口のように反応したのはなぜか。本文の記述を踏まえて答えよ。
- 問四 傍線部ハが指示する内容を具体的に説明せよ。

問題三

次の文章は「喬然上人入唐時為母修善願文」の一節である。読んで設問に答えよ。

喬然天祿以降、有心渡海。本朝久停乃貢之使而不遣。入
唐間待商賈之客而得渡。今遇其便、欲遂此志。喬然願先參
五台山、欲逢文殊之即身。願次詣中天竺、欲礼釈迦之遺跡。
但我是罪障之身、血肉之眼。既到其土而不易、況見其身而^B
可難。古人云、縱有為大山者、覆一簣以不止、終及万仞矣。^C
又有赴長途者、投咫尺以不留、必届千里焉。其積功累德、
致誠專心者、無事不成、無願不遂。^D

問一 傍線部Aとはどういうことか、わかりやすく説明せよ。

問二 傍線部B・Cを平仮名のみ書き下し文に改めよ。

問三 傍線部Dとあるが、何を根拠にどうなるというのか、説明せよ。